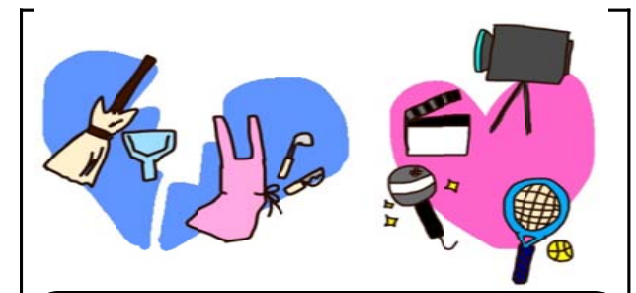


安楽寺マンガ通信

その39 信楽めくみ作



みなさん、得意なこと、好きなことはありますか？
逆に、不得意なこと、嫌いなことはありますか？
私は、友達と遊んだり、映画見たり、ライブ行ったり、スポーツも好きです！
ひかし、掃除洗濯などの家事や、早起きが不得意であまり好きじゃありません。

日常生活や、仕事を円滑にするには、好きなことを意識して！
私は、嫌いが無いわけじゃ無いと思えます！人は支え合えるので、苦手なことを補い合えばいいと思います。だからと言って、好きなことをばかりするのは成りません。

苦手な事、不得意な事も頑張ってお取り組む努力をするのが肝心だと思っております。成長はそこから生まれるのではないのでしょうか。
好きなことばかりじゃなく、苦手なことも少しずつ頑張ってみたら新しい世界が開けるかもいれません。
私も今一人暮らしで、掃除洗濯も苦手を早起きも頑張っています！



信楽峻磨前住職CD『佛慧』完成

9月26日信楽峻磨前住職の4年目の命日を迎えました。

その命日にあわせて信楽峻磨作詩、富田和代作曲の信心の歌「み仏は」「お念仏」「わが生命」の3曲をCD化し、発表しました。歌はスタジオジブリの映画「かぐや姫の物語」の主題歌を歌われた歌手で僧侶の二階堂和美さんに歌って頂きました。素晴らしい歌声で、信心の歌に新たなのちが宿った気がいたします。また10月1日、広島別院で二階堂和美さんの講演会が決定しており、そこでたくさんのお同行の皆様の前で、「佛慧」の初披露をさせていただきます。

このCDジャケットは前住職が揮毫していた色紙です。「佛慧（ぶつて）」とは仏さまの智慧と功德を表し、親鸞聖人の御和讃には佛慧功德をほめしめて

十方の有縁にきかしめん
信心すでにえんひとは
つねに仏恩報ずべし

とあり、仏さまの智慧と功德を多くの方々にお伝えすることをお勧め下さる御和讃です。まるで前住職の生き様、また今も現にこのような形で十方に聞かしめんと働いていることを示唆する御和讃と味わい、このCD名とジャケットに致しました。

是非皆様にもお聞き頂き、お味わいいただければ幸いです。

編集後記
安楽寺本堂の修復にはたくさんの方のご協力を賜り、誠にありがとうございました。表紙に小さく描かれた本堂を、塗り職人の手によって丁寧に塗り直していただきました。頭が下がりました。これまでも縁が繋がって下さり、テレビでも次々と天啓の不正が報道されていきます。ブレイクとなった現代人の宗教であり、お寺の役割はこれからも大きくなります。

安楽寺寺報

開光

第89号
報恩講号
2018/11/1

発行所
〒737-0054
呉市上山田町2-28
安楽寺
Tel.0823-21-7561

阿弥陀仏の薬

信楽晃仁

二つの新聞記事をご紹介します。
9/20朝日新聞「過剰さは効率を凌駕する」生物学者 福岡伸一師
『想定外の事態に対していかに備えておくべきなのだろう。生命現象に学んでみよう。生後、私たちはどんな外敵にさらされるか全く想定できない。病原細菌、新奇なウイルス、化学物質、それに対して免疫システムは、DNAのランダムな組み換えと積極的な変化によって、百万通り以上の抗体を準備する。この中のどれかがいざというとき役立てばよい。大半の抗体は使われないまま終わる。過剰に準備して、環境に刈り取られる。実は、脳のしくみもこの原則に従う。ヒトの脳は生まれた後、神経細胞同士がさかんに連合して積極的にシナプス結合を形成する。つま



り過剰なネットワークを作って待ち構える。何を？ 環境からの入力を。その後、使われなかったシナプスは消える。一〇歳ごろまでに脳のシナプスの数は生まれた後に比べ半減してしまふ。かくしてどんな風土に生まれても適応し、いかなる言語でもしゃべれるようになる。無作為に大過剰を作り出すことは一見、無駄に思える。コストもかかる。しかし生命はあえてそうしている。無作為に作為にまさる。過剰さは効率を凌駕する。長い目でみれば、これが想定外に対する最良の対策であったことは、過去三億年間にわたり、いかに環境が激変しようとも一度たりと

も途切れることなく生命が続いてきた事実が証明していることなのだ。』
人間は、みんな天才の可能性をもって生まれるのだそうだ。昔から「十で神童十五で才子二十過ぎれば只の人」という諺がある。事実だいたいみんなただの人になってる。昔の人は経験的に今脳科学で証明されたことを知っていたようです。
脳科学的にも幼児期が最も脳の神経細胞が繋がり、その能力が開発される時期らしい。ただそれがしっかりと結合するまでネットワークをつないでおかないと身にはつかないと言ふことである。その意味でも基本となる家庭教育が抜けては、どのような良い教育も実現しないと言ふことを肝に銘じなくてはなりません。
ひかり幼稚園では幼児教育という人間でその一番大切な時期を育てています。幼稚園では子ども達が五感を使い、色々な事を経験し、そして何といつても仏さまに出会い、お念仏を口にするという仏教的素養のシナプスをつないでいます。
近年お葬儀で新たに縁のあった

ご家族に「お念仏しましょう」と言っても、決してお念仏をしないご家族と、素直に「南無阿弥陀仏」と口にされるご家族があります。たった七文字のカタカナなのに難しいのです。お念仏申せるのは当たり前ではありません。そこにはやはり、ご縁の差があるのではないかと思います。
ひかり幼稚園の子ども達は、今しっかりとお念仏のシナプスをつないでいます。
10/20 朝日新聞 天声人語
『人間の行動を研究するため、米国のこんな実験がなされた。大学生たちに算数の問題を解かせ、正解の数に応じて賞金を与える。ただし監督の目は緩く、ごまかすことも可能だった。▼実験の前、一つのグループには高校時代に読んだ本一〇冊を書き出させた。別のグループには旧約聖書の十戒を思い出せる範囲で書かせた。「汝、殺すなかれ」などで知られる戒律である。一〇冊グループと違い、十戒グループはまったく不正をしなかったという。▼当たり前だと思われたか。興味深いのは、十戒のうち一つか二つしか思い出せない学生にも効果があつたことだ。「なんらかの道徳基準に思いをめぐらすだけで十

※シナプスとは脳内の神経細胞と神経細胞を繋ぐ接点であり、回路を繋ぐもの。

安楽寺本堂修復協力御礼

この度は安楽寺本堂修復にかかり、たくさんの方のご協力を頂き、ありがとうございました。おかげをもちまして無事修復ができました。多くの皆様に、過分にご協力を頂き、今回目標額を超過致しました。その超過分につきましては、総代会で相談し、当初の計画になかった修復、修繕をさせていただきますことになりました。追加工事としては①本堂正面土間、擁壁の修復、②本堂正面扉のUV張り替え、③本堂エアコンの新調。以上3点の追加改修をさせていただきますこと、ご報告申し上げます。皆様のご厚情、心より御感謝申し上げます。

懇志進納額 6,083,000円(182件)
工事総額 6,127,110円

以下協力者のお名前のみ掲載させていただきます。ありがとうございました。

- 青木澄江、天野邦子、新井茂昭、有田順子、安久アサノ、池田寛、石井久雄、石井裕彦、石川博朗、石橋純誓、糸谷輝夫、井上保子、井原智恵子、今岡公樹、今村和子、入澤和子、上田憲司、上田ひろ子、上野光枝、宇佐川義宣、畦弘子、柳屋美記子、恵美敏子、大角マサエ、大下光子、大谷宣孝、大裕徳夫、大林俊子、大前正清、小笠原慶充、小笠原康雄、岡田貴隆、岡本桂、岡本静枝、岡本敏正、岡本龍二、小川哲郎、沖田イチエ、沖山慶子、奥本正胤、尾郷幹夫、尾崎晃子、小田恵子、小田豊、面本百合子、梶山豊也、門井亮二、加藤利幸、金谷巖、金原昭子、釜友ノルコ、加門正光、河端国夫、河本英子、河本八重子、上林忍、岸田博、岸本恵子、北尾和典、北野時恵、木原和幸、杵木孝子、国清律子、某、久保智恵子、久保義、黒田美和子、河野和則、河野令子、小浦建一、小谷桂司、後藤清香、後藤由江、小林初栄、小林初栄、作本義正、佐中敬一、佐原暢子、沢田美代子、沢田美智江、澁川光子、清水信子、清水伍、下田敏雄、城谷勝己、白井月星、新河秀子、新谷純子、進藤哲志、新村貞子、鈴木英一、曾根勝久、空井哲子、竹井万喜枝、竹中美代子、武信早苗、竹盛信政、多田美枝子、立石盛揮、田中修治、田中治雄、田之上洋子、玉木敏彦、玉木量子、近石正宣、土持弘美、坪池敬子、寺西美恵、寺本清子、利重敦子、富田和代、富田寛和、中川賢治、中川静義、中川孝、中村希敏、中向井照美、中宗正彦、中宗泰則、中村淳夫、中村禎之、中村守男、中村有、中谷宏邦、新林ヒサヨ、西正、西尾弘子、西田千代子、西村一己、西村義晴、西村和子、西村光子、西森正、二宮巖、野崎博志、橋本穰、羽田隆子、瀧崎清子、浜本洋身、平川康男、平谷順子、廣一志、広林敏夫、藤井友紀、藤井美奈、藤國ゆかり、藤崎ハル子、藤本満利枝、藤原幸子、古川幸生、本田和子、益縣忠孝、益縣利子、増田朝美、増原ひろ子、水野伸生、三谷忠義、宮原嘉枝、名井邦男、向井理香、桃谷進、森眞智子、森川洋子、森近英策、森原恒子、森本肇、門田俊子、八百城昇、八島弘子、保田蝶子、安原和彦、山内信子、山口まゆみ、山下美恵子、山田誠、山田誠子、山根直行、山本一朗、山本夏恵、吉田カズ子、渡辺治康、渡辺康弘(50音順)

お念佛。しずく



「人のねがいと仏のねがい」
我欲にまみれ、それにとざされていく私自身の日常生活の中から、ひとりで浄土を願うというような心が生まれたいという心がある。私における浄土を思い、浄土を願うという心は、ひとえに仏法に出あい、その教えによって、私の心がゆり動かされ、みちびかれてこそ、はじめて生まれてくるものであります。

浄土を願うようになつてゆくのです。子どもが次第に成長していく中で、その子どもが自分の心において何を願うようになるかは、何よりも親の願いにふれることによるものだと思います。子どもがより正しい人間になりた

いと思ひ、まことの人生を

私たちが、浄土からの願いにふれることによつてこそ、はじめて浄土を願うようになつてゆくのです。子どもが次第に成長していく中で、その子どもが自分の心において何を願うようになるかは、何よりも親の願いにふれることによるものだと思います。子どもがより正しい人間になりた

安楽寺法要案内	
十一月	<p>報恩講</p> <p>日時 11月18日(日) 朝席10:00～ 昼席13:00～</p> <p>講師 畑賀 品秀寺 柳 父 正道 先生</p> <p>講題 仏に成るとはどういうことですか</p>
十二月	<p>成道会</p> <p>日時 12月8日(土) 朝席10:00～ 昼席13:00～</p> <p>講師 備後 善正寺 那 須 英 信 先生</p> <p>講題 往生浄土</p>
一月	<p>御正忌</p> <p>日時 1月12日(土) 朝席10:00～ 昼席13:00～</p> <p>講師 住職自勤</p>
二月	<p>涅槃会</p> <p>日時 2月8日(土) 朝席10:00～ 昼席13:00～</p> <p>講師 安浦 信楽寺 広 幡 康 祐 先生</p>

分だった」と実験をした行動経済学者アリエリー氏が『予想どおりに不合理的』で述べている▼そんな話を持ち出したのは、企業によるデータ改ざんがまたも発覚したからだ。油圧機器大手KYBで、免震装置の検査データがごまかされていた。装置は、役所や病院など多くの建物で使われているという▼深刻なのは、二〇〇三年から少なくとも八人の検査員が、不正を引き継いでいたことだ。検査をやり直す時間がかり、納期に間に合わない。そんな事情が優先されてブレーキがからなかったのは、他の多くの不祥事と同じである▼組織に身を置けば、そこだけで通じる論理に染まりがちだ。十戒でなくても、自分なりの戒めの言葉を持ちたい、たとえば寅さんの名セリフなどはどうだろう。「おてんとうさまは見ているぜ」

この二つは「我が意を得たり」と喜んだ記事です。まず一つに、宗教は私たちに正しい道を指し示す、羅針盤です。親鸞聖人は「善悪のふたつ、総じてもつて存知せざるなり」と言われたましたが、それは善も悪もわからないから、考えなくて良いという事ではなく、善も悪もわからない無智であるがゆえに、如来のよしとされるものを選びとって生きていくとすることです。自分が無智で善悪の判断もつかぬ身だと知れば、何かの基準を求めざるを得ず。道を求める者がわからないから考えないとは決して思わないでしよう。私たちはお念仏に会うことで、如来のよしとされるものに出会うことができている。それを私たちが選ぶか、それともわが煩惱を選んで、その煩惱に忠実に生きることかという問いが問われるのです。そのことを親鸞聖人はお手紙に「もとは無明の酒に酔ひて、貪欲・瞋恚・愚痴の三毒をのみ好みめしあうて候ひつるに、仏のちかひをききはじめしより、無明の酔ひもやうやうすこしづつさめ、三毒をもすこしづつ好まずして、阿弥陀仏の薬をつねに好みめす身となり」ました、と言われている。お念仏は無智を元とした、欲と怒りの毒ばかりを好む私の病を治す「薬」だと示されます。社会にはこの毒が蔓延しています。次々と出てくる不正はその毒が元になっていることも知らず、逆に幸せの種だと勘違いして「三毒をのみ好みめす無智の現代人、それが社会問題の

元凶なのです。幼稚園では幼児期の過剰なほどの神経細胞の中から、お念仏で仏法のシナプスをしっかりと繋ぎ合わせます。しかし、くらのシナプスを繋げても、既に太い三毒の煩惱シナプスが繋がっている人間は、ついつい煩惱に走ります。しかしそこにもお念仏の薬は「仏さまは見てござる」と戒めの声を届けて下さいます。それが間違いを起こしやす私をどこまでも捨てることなく、お育て下さるお念仏の薬効なのです。



「ご縁」 信楽慧
いま僕は東京で一人暮らしをし、仕事していません。辛いこともあれば、楽しいこともあり、仕事のことでも悩むこともあれば、人間関係で悩むこともありません。しかし仕事では色々な事を経験し、また色々な人との出会いもありました。この度今までと仕事環境が変わることで、色々この一年を振り返ってみましたが、するとどれもこれも不思議な「ご縁」だと思はれます。特に人間関係は、とてもいいご縁をいただけて、大切にしたい。いいご縁をいただけて、大切にしたい。いいご縁をいただけて、大切にしたい。

「ご縁」を考えると、多くの人がご縁というものを大切にしたいという現状があると感じました。時々「どうせ二度と会わないんだし」という言葉を耳にします。この言葉は、ご縁というものをよく理解していないことを表しているのだと思います。「全ての物事は繋がっている」というご縁の考え方を持つと、そのような言葉は出てくるはずがないと思えます。この「ご縁」という考え方の欠如が、近年言われている無関心社会へと繋がっているのだと思います。自分への戒めとしても、この「ご縁」を深く考え、感じることで、他人や物事に対してもっと真摯に向き合うことができるようになるのではと感じました。